

学校教育目標	「かしこく やさしい 元気な子 ひかり輝く 茅ヶ崎台」 ○基礎基本を身に付け、自ら問題を発見し、意欲的に学び続ける力を育てます。(知) ○善いこと、悪いことをきちんと判断し、自分や相手を大切にすることを育てます。(徳) ○規則正しい生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) ○自分らしい夢や目標をもち、自ら考え行動する態度を育てます。(公) ○自他の違いを受け止めながら、人とのコミュニケーションを通して、ともに生きていく力を育てます。(開)				
	創立 30 周年	学校長 宇原 豊	副校長 成田 和之	2 学期制	一般学級：22 個別支援学級：4
学校概要	児童生徒数： 718 人 主な関係校： 茅ヶ崎中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力>  <心身ともにたくましく生きる力>  <問題発見・解決能力>	茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎東小学校	○主体的に学習し、伝え合いながら学びを深める子ども(コミュニケーション力) ○協働的に解決策を見出し、実行する子ども(問題発見・解決能力) ○地域と自らかかわり、支えあう子ども(社会生活との関わり) 授業研テーマ「魅力ある茅ヶ崎中学校区を目指して」 ～育成を目指す資質・能力の視点での小中教科指導の工夫～ ・年2回の授業参観・研究協議会 ・年1回の職員交流会 ・合唱交流・部活動見学会での児童生徒同士の相互理解 ・年5回のコアメンバーによる推進協議会

中期取組目標	○かしこく やさしい 元気な子 の育成を目指して、豊かにかかわり、心をつなぐ学校にします。 ・学びの意欲を高める授業づくりを推進し、自ら問いをもち学び合う態度を育てます。 ・心身ともに健康な生活習慣の確立と体力向上に向けた取り組みを推進します。 ・豊かな人間性の育成のため、たてわり活動の充実を図り、教育ボランティアの活用を推進します。 ・地域とのつながりを意識し、様々な体験を通して自分の住んでいるまちを愛する心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 学習指導	①学習のきまりを継続的に確認し、学年のニーズに合わせた段階的な取組で定着を図る。②地域や関係機関と連携を図り、児童のよさや課題を見つめて教材開発や研究を行う。③授業づくりにおいて、児童が自身の学習意欲や活動する中で得た根拠をもとに、自分の考えをもち、思いを話す場面を充実させる。
担当 重点研/児童支援	
<b>徳</b> 特別活動	①今後も、たてわりの活動回数を確保していく。また、新日課表になるが、水曜日の昼休みを使って、さらに充実した内容を目指していく。②今年度同様、たてわり活動を軸として、自他のよさに気づき、協力していく活動に取り組み、子どもたちの力を育てていく。
担当 特活/たてわり	
<b>体</b> 健康教育	①カリキュラムに保健の時間を明確に位置付け、体育部と養護教諭が連携して保健の授業を推進していく。②来年度も継続して行う。③給食だよりやタイムライン等で、食育の活動を定期的に知らせる。④来年度も継続して行う。
担当 体育/保健安全食育	
<b>公</b> 地域学校 協働活動	①地域コーディネーターと連携し、新1年生ボランティアの充実を図り、幼保小のスムーズな移行を目指す。②図書ボランティア等の教育ボランティアの活動を継続し、教育活動の充実を図る。③地域コーディネーターと連携し、生活科や総合的な学習の時間を中心に地域の人と関わりを大切にする教育活動を展開する。
担当 教務/生活総合/図書	
<b>いじめへの対応</b>	①毎月の学校生活アンケートと丁寧な聞き取りを継続し、児童一人ひとりの見取りをさらに重要視する。②防止対策委員会において、専任を中心に、いじめの早期発見、再発防止、未然防止に努める。③学校便りやマチコミを通じて、保護者への周知・啓発を図る。
担当 児童支援	
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b>	①職員の現状やニーズに合わせ、研修内容を検討し、充実させていき人材育成に取り組んでいく。 ②学び合いや相談の場と時間を保証する働き方を目指す。③高めたいスキルを自ら選択できるシステムを構築する。また、学んだことを積極的に発信する。
担当 メンター/働き方改革	
<b>情報教育</b>	①ICTを効果的に活用した学習方法をワークショップ形式で共有する。一人一人がもっているノウハウや考え方を共有できる研修を設定する。②教職員で情報共有を図り、使用頻度が均等になるよう、学校での統一を図る。③外部講師による情報モラル教室等、ICTの活用に向けた活動を充実させ、情報公開する。
担当 情報視聴覚	
<b>児童指導</b>	①年度始めに茅ヶ崎台小学校のスタンダードの徹底を行う。実態にそぐわないものがあつた場合は、早急に検討し、児童が安心して生活できる学校づくりを目指す。②年2回のYPアセスメントとそこから見えてきた課題を解決していくためのプログラムの実施を行なう。SOSの出し方プログラムも積極的に取り組む。
担当 児童支援	
<b>特別支援教育</b>	①ユニバーサルデザインを意識した、授業作りや教室環境の見直しを図る。②特別支援教室での取組を周知し、子どもたちの個別の支援に努めた。安心して学校生活を送ることができるために、ベニバナルーム、トチノキルーム、心の教室の環境を整える。
担当 児童支援/特別支援コーディネーター	
<b>道徳教育 人権教育</b>	①人権週間の取組など、年間を通して人権意識を高める取組を計画的に行う。②道徳推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。また、各学年での取組を交流する。③職員の道徳意識、人権意識を高めるためにも研修を設ける。
担当 道徳/児童支援人権	